

しなやかファーム
阿部 俊樹さん

きゅうり専門農家を営み、インターネットやイベントを通じて、消費者に農業について知ってもらおう活動をしている阿部さんにお話を伺いました。

■「しなやかファーム」の名前の由来

良いことも悪いことも受け取り方次第。良いことがあれば吸収し、嫌なことがあっても柔軟に受け返す。譲れない芯の考え方を持ちながら、強いけれど柔かい。僕が目指している生き方そのものが表れる農業にしたいという気持ちを込めて、「しなやかファーム」と名付けました。

有料広告掲載欄

ええやん♡里親

「里親って何だろう？」

♡日時：2020年3月20日(金・祝)14:00～16:00

♡場所：四日市市総合会館 8階視聴覚室

児童養護施設・乳児院では、職員(児童指導員・保育士・看護師・心理士)を募集しています。
お問い合わせは、エスぺランズ四日市
本弘(モトヒロ)まで TEL:059-346-1371

♡主催・お問い合わせ／
社会福祉法人アパティア福祉会
児童家庭支援センターまお
(エスぺランズ四日市内)

内容

第1部 里親制度説明・サポート紹介

第2部 講演：「日本の社会的養護と里親のこれから」

講師：三重県児童相談センター前所長 鈴木 聡氏

※市営中央駐車場ご利用の方のみ
駐車券をお渡しします。
(要事前申込、3月18日まで)

参加
無料

080-6983-6863 mao@apatheia.jp

(まお直通:9時～16時)

059-346-1371

(エスぺランズ四日市)

里親制度 まお 検索

共催：三重県 後援：四日市市

子どもたちのために
里親を「知る」
里親を「応援する」
里親に「なる」

Supported by
日本財団
THE NIPPON FOUNDATION

助成：
日本財団

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

■農家に転身

きゅうり農家は平成29年から始めました。それまでは名古屋市中区でエステサロンを営んでおり、どうすれば女性をきれいにできるかを考えているうちに、外面、内面、精神面が揃ってこそ真の美であるという結論に至りました。そこで当時流行っていたプチ断食を試してみたところ、体が軽くなり、頭もすっきりし、肌つやも良くなったと感じました。体内に入る食べ物の大切さを再認識し、その大切な食べ物を作っているのは誰かと考えたとき、その答えが農家でした。

四日市が地元ですが、祖父や父がやっていた米農家の仕事にあまり魅力を感じず、実家に帰るつもりはありませんでした。しかし、実は農業はすごい仕事なのではないかと気付いたのです。地元に戻って生まれ育ったまちに感謝しながら作物を育て、多くの人に食べてもらいながら家族を養い、親孝行もできると考え、農業をしない選択肢はないと思いました。



■顔と意思が見えるきゅうり農家へ

農業について調べ始めると、「稼げない」や「仕事がきつい」といったネガティブなイメージばかりが出てきました。ところが、調べれば調べるほどに、多くの人が農業にやりがいを持っているのにそれを発信できていないということが分かりました。

そこで、作った人の顔と意思が見えてくれば目の前の野菜の価値観や見方が変わると思い、インターネットを通じて「誰がどういう思いをもってこの野菜を作ったか」という過程を発信することにしました。さらに、食と音楽の収穫祭「しなやかフェス」を立ち上げ、自分がステージに立って、全国から集まってくれ

た大勢の参加者に向けて農業に対する思いを話しました。目の前で「おいしい」と言って食べてもらえた瞬間は、世界で一番幸せな農家だと感じました。他の農家の人にもこの気持ちを感じてもらいたいと思ったところ、高知県のトマト農家の人が志願してくれ、令和元年は高知県で開催し、約200人の参加者に来ていただきました。今年は四日市で、生産者がつくる新しい夏祭り「オリジンジャム」を開催しようと計画しています。いろいろな第一次産業に従事する人たちが集まることができるお祭りにして、生産者たちの個性を掛け合わせていきたいと思っています。



■現在そしてこれから

きゅうりは他の野菜に比べて病気になりやすかったり、虫がつきやすかったりするため、他の野菜農家の人に「大変でしょう」と言われることもあります。繁忙期には朝5～6時から暗くなるまで収穫し、子どもに夕飯を食べさせ、お風呂に入れて寝かしつけてから、出荷の作業を再開し、朝3～4時に終わるという日が続くこともあります。さすがに疲れますが、それでも毎日が楽しいです。

僕には人生において二つの目的があります。一つは家族を豊かにする、もう一つは人の役に立つということです。農業がその手段である限り、これからも生産者と消費者をつなぐ活動を続けていこうと思います。

3月放送のCTY「ちゃんねるよっかいち」やCTY-FM「よっかいちわいわい人探訪」でも紹介します。(放送時間は裏表紙へ)

有料広告掲載欄

四日市市歯科医療センター講演会

日時 2020年3/8日 10:00～13:30 (開場 9:30)

会場 四日市市文化会館 第2ホール(車いす席あり)

演題 「自閉症の僕の心をはぐくんだもの」 東田直樹氏(小説家)
「今、自閉症の子育てを振り返って」 東田美紀氏
「自閉スペクトラム症のお口に関わるお話し～こころと歯を繋ぐ歯科治療～」
加藤 篤氏(愛知県医療療育総合センター中央病院歯科 歯科医師)

四日市市歯科医師会市民公開講座

日時 2020年3/15日 13:30～15:30 (開場 12:30)

会場 四日市市文化会館 第1ホール(車いす席あり)

講師 長谷川嘉哉氏(医療法人プレイン理事長・岐阜県土岐市開業)
認知症専門外来および在宅医療の実践のため開業。祖父が認知症であった経験から患者さんご家族の立場にたった専門医療を提供しています。

演題 「脳の老化を止めたければ歯を守りなさい」

★詳しくは四日市市歯科医師会ホームページをご覧ください。www.y-dent.com

四日市市歯科医療センター

歯科衛生士(パート)

求人募集

- 月5～7回程度
- 半日1万円(交通費別)



一般社団法人 四日市市歯科医師会 〒510-0093 四日市市本町9-12 TEL:059-354-8512

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。